

市民の声 ちがさき



市民の声がさきは
茅ヶ崎市民と茅ヶ崎市が一体となって
より豊かなまちづくりを進めることを目指します。

市民一人ひとりが現場で感じている声に耳を傾け、同じ目線で考え、市政をよりよくするために議員の立場から提言をしていきたい。そのような想いで集まった議員が、茅ヶ崎市議会会派「市民の声がさき」として2023年5月より発足しました。

発足より約2年が経過し、議員任期4年の半分以上が過ぎる中、各々の振り返りもレポートいたします。

市民の声がさきが大切にしていること

- 1 私たちは茅ヶ崎市民の一人であり、現場で起きているリアルな声に常にアンテナを張る
- 2 チームとして情報を共有し、議論し会派として最善策を出せるように心がける
- 3 協議の上で会派内で意見が分かれても最後は議員個人の存在・判断を尊重する

会派代表
日本維新の会
花田 慎
議員歴
3期目



<http://hanahana.style.coocan.jp>



市議会内の役割(所属委員会)

- 環境厚生常任委員会 委員長
(茅ヶ崎市内の環境・ゴミ、福祉・病院事業について取り扱います)
- 議会運営委員会
(茅ヶ崎市の運営方法について検討します)
- 議会制度検討会
(議長の諮問機関で議会の制度について検討します)
- 神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員
議会運営委員会 副委員長
(茅ヶ崎市議会を代表し神奈川県後期高齢者医療広域連合議会に就任)

委員会で印象的だったこと(TOPICS)

環境厚生常任委員会の委員長として公平で質の高い議案審査を心がけてきました。政策提言では委員の意見を聞いて可能な限り調整し「健康都市がさきを目指して」についてまとめ上げ、市長に提出しました。

居住地区
南湖

メールアドレス
mkt_87da
@nifty.com

総務担当
参政党
清野 まさし
議員歴
1期目



<https://seinomasashi.com>



市議会内の役割(所属委員会)

- 環境厚生常任委員会
(福祉について当事者目線、家族目線で取り組みます)
- ICT活用推進協議会
(情報社会での議会の在り方を推進します)

委員会で印象的だったこと(TOPICS)

予防接種健康被害救済事業費は1億4千万円を超え、新型コロナウイルスワクチン接種事業費は3億6千万円を国庫に返還しました。新たな感染症への対策については慎重な姿勢が必要です。

居住地区
円蔵

メールアドレス
masashi.seino.
kouenkai@gmail.com

会派副代表
無所属
藤村 優佳理
議員歴
3期目



<https://fujimurayukari.com>



市議会内の役割(所属委員会)

- 文化教育常任委員会 副委員長
(妊産期から子ども子育て、学校教育、文化スポーツについて取り扱います)
- 広報聴取委員会
(議会より構成・作成、市民との意見交換会について企画します)

委員会で印象的だったこと(TOPICS)

・コロナ禍が明け、小児医療費助成(所得撤廃)が中学生→高校生と拡大し、他市より後発でしたが気付けば先進市と同列となりました。
・中学校給食が開始され、ご飯の量に若干課題があるものの味付けは生徒に受け入れられています。いよいよ令和7年5月から3全校開始されます。
・中学校の卒業式に参列しましたが、令和6年に体育館空調が設置され、寒さ対策ができた事を体感しました。

居住地区
香川(鶴が台)

メールアドレス
yukari.2ji6ra
@gmail.com

会計担当
無所属
山口 順平
議員歴
1期目



<https://taiwai00.com>



市議会内の役割(所属委員会)

- 都市経済常任委員会
(茅ヶ崎市内の産業・農業水産、都市計画・道路などについて取り扱います)
- ICT活用推進協議会
(茅ヶ崎市のデジタル化について推進します)
- 茅ヶ崎市都市計画審議会
(都市計画に関する事項につき有識者・公募の市民とともに調査審議します)

委員会で印象的だったこと(TOPICS)

・道の駅がさきの議案と陳情。度重なる審査で関係者の苦労を知りました。
・茅ヶ崎海岸グランドプランをもとにした海岸周辺の開発計画にワクワクし、今後市民の想いを届けていきたいです。
・生産緑地地区として定めた農地が30年経ち用途変更され減少傾向にあることが悲しく、今後のあり方を思索しています。

居住地区
中海岸

メールアドレス
jumpei.yamaguchi
88@gmail.com

会派では2024年度下半期このような活動をしてきました！

市民の声 ちがさき 下半期の活動報告

令和7年度の予算が決まるまでに会派市民の声がちがさきがどのような活動を行っているかご紹介します。当会派で大切にしていることは「全員で議論すること」。担当かどうかに関わらず当事者意識をもち、予算要望・質疑等を持ち寄り、より良い内容を提示できるように工夫を重ねています。



STEP 1 予算要望書の提出・回答受け取り



交渉会派となる市民の声がちがさきは、次年度の予算や事業に対する要望・提言を市長に直接提出ができます。今回は37項目について10月末に提出し、回答を2月に受け取り

ました。市長・副市長との打ち合わせの間は概ね15分。その中で主に茅ヶ崎海岸グランドプラン、特別学級の全校設置や障害者の自立支援などについて意見交換を行いました。

STEP 2 会派メンバーで研修参加

政務活動として2日間研修を受講しました。全国的に注目されているテーマ「人口減少と国の施策」「国のこども子育て施策」です。茅ヶ崎市は2025年1月をピークに人口減少が始まり、先を見据えた計画策定が重要です。こども計画は「こどもまちプロジェクト2025-2029」が策定予定。全国と茅ヶ崎の違いを比較し、課題・施策を検討する良い機会となりました。



ました。市長・副市長との打ち合わせの間は概ね15分。その中で主に茅ヶ崎海岸グランドプラン、特別学級の全校設置や障害者の自立支援などについて意見交換を行いました。

STEP 3 総括質疑の実施

令和7年第1回議会初日(2/21)には市長による令和7年度施政方針演説があり、その内容に対する総括質疑を行いました。質疑項目は、茅ヶ崎市の財政の見直し、子ども・子育て支援、障がい者への支援、市民や地域の活動の振興、災害に備えた強靱化、これからの市政運営(人口減少社会への対応)など41項目と多岐にわたりました。



STEP 4 予算特別委員会



令和7年度予算審査のため、予算特別委員会が組成され、委員11名のうち会派2名(花田・清野議員)が選出されました。479ページにわたる予算書を冊子とタブレットを駆使してチェック。一般会計・特別会計の歳入・歳出について4日間審査が続きました。最終日には市のシティプロモーション・企業版ふるさと納税の活用等について総括質疑を行いました。

活動の一部をお知らせします。どれも参加可能な取り組みですので、興味のある方は各議員にお気軽にお知らせください。



花田まこと [会派代表]



茅ヶ崎に引っ越して間もなく地元南湖下町の菖句会に入り月一回の練習会で楽しく練習しています。なかなか上達しませんが楽譜も音符もなくタンスの音で誰でも歌えるのが菖句のいいところ。今回は南湖公民館まつりで下手な菖句を披露しました。お神輿もそうですが伝統文化として菖句も後世に残したいと思います。参加者募集中。



清野まさし [総務担当]



政政党公認ファシリテーターとしてワークショップを開催しております。近隣市民との交流から市政に活かしていきたいと取り組んでいます。横須賀、海老名と開催して、藤沢、横浜、町田も予定しておりますが地元茅ヶ崎では市政報告会を随時開催しておりますのでお気軽にご参加ください。



藤村ゆかり [会派副代表]



こどもまちプロジェクトのパブリックコメント実施を受けて、対象となる児童・生徒、保護者の皆さんと一緒に「パブコメ大作戦」を行い、パブコメの役割、メリットや課題などを説明し、ナビゲートしながら一緒に作成後、提出しました。市民の声を市政に届ける事ができました。今後も継続して活動する予定です。



山口じゅんぺい [会計担当]



焚火の会を実施しました。といっても中身は真剣。多業種の人が集まり、「茅ヶ崎がさらによくなるには何ができるか？まちに関心を持ってもらうには何ができるか？」といった問いに向き合い、一人ひとりの想いに耳を傾け、お互いの心に灯をともし時間となりました。活動家の多い茅ヶ崎だからつながり、輪を広げる活動は無限の可能性。ぜひご参加を！